

ふたがわ たいち
二川 大地さん (31歳)

学んだことを活かしたい。

他県で住宅メーカーの営業をやっていましたが、30歳を契機に独立しようと思いました。農家出身ではありませんが、大学時代に、農業生産法人の経営を研究していたことを活かそうと、就農を決意しました。

ネットワークを構築し新たなビジネスモデルを。

就農を考え始めた頃、両親の住んでいた香川県に相談したところ、就農前にじっくり情報収集すること、就農に当たってはしっかり研修を行うようアドバイスをいただきました。おかげで、焦ることなく就農準備ができました。もう少し貯金をとも思いましたが、国の青年就農給付金があるので、安心して就農に踏み切れた一面もあります。

就農後は、ニンニク、ネギの栽培を行う予定です。高松市に相談したり、農地中間管理機構を活用したりして、農地の確保にも努めました。1農家でできることには限界があるので、知人とネットワークを作り、新たなビジネスモデルを作っていくたいと考えています。

これから就農する方へのメッセージ

今、若い人の力、考え方が必要になってきています。既存の農業の枠を超えた発想で新しい農業を作っていくける、とても魅力的な職業です。



研修について

研修先：県農業大学校
研修内容：技術研修科・野菜コース

就農後の経営について

ニンニク、ネギ 1ha